

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成26年10月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図2）

F1噴気孔群及びF2噴気孔群の噴気の高さは火口上200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震及び微動の発生状況（図1-③、図3）

期間中の火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

22日5時53分に、アトサヌプリの西方約5km付近でマグニチュード2.3の地震が発生し、弟子屈町サワンチサップで震度2を観測しました。この地震発生前後で火山活動に変化はありませんでした。アトサヌプリ周辺では時々地震活動の高まりがみられ、2012年9月28日には18時から20時の間に一時的に地震が増加し、弟子屈町サワンチサップで震度2を観測しました。

・地殻変動の状況（図1-④⑤）

GNSS連続観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

今回の火山活動解説資料（平成26年11月分）は平成26年12月8日に発表する予定です。

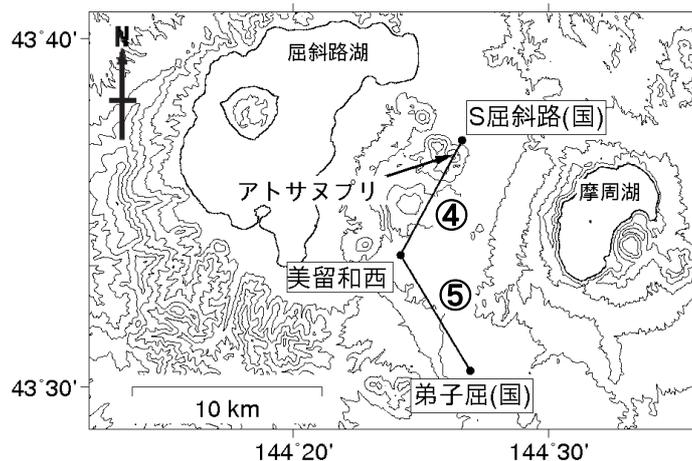
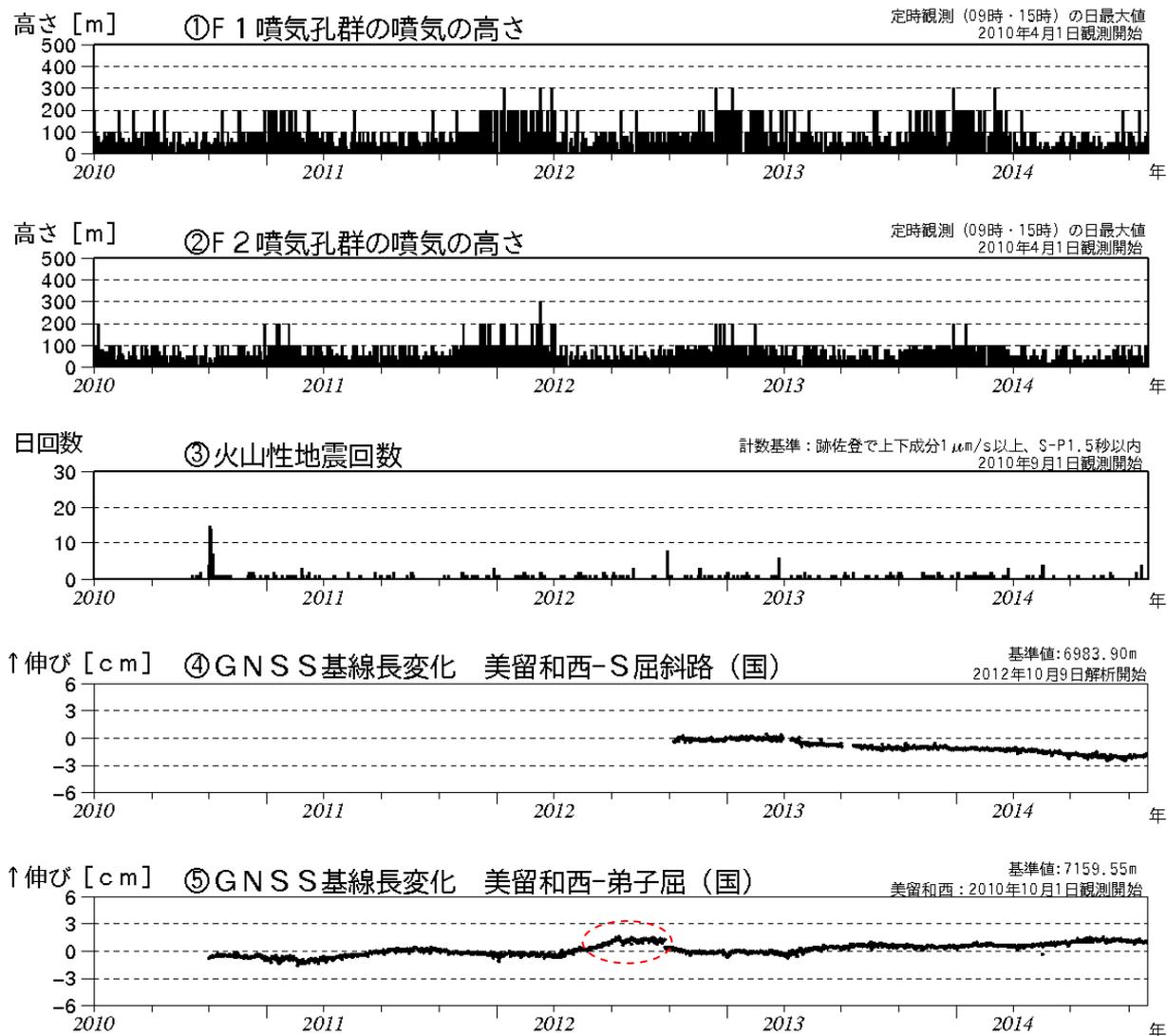


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図 (2010年4月~2014年10月) 及びGNSS連続観測点配置図

- ・ GNSS基線の④⑤は配置図の④⑤に対応しています
- ・ GNSS基線の空白部分は欠測を示します
- ・ ⑤の赤破線円内の変化は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採 (2012年9月下旬) によるものです
- ・ (国): 国土地理院



図2 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況
(10月30日、北東山麓遠望カメラによる)

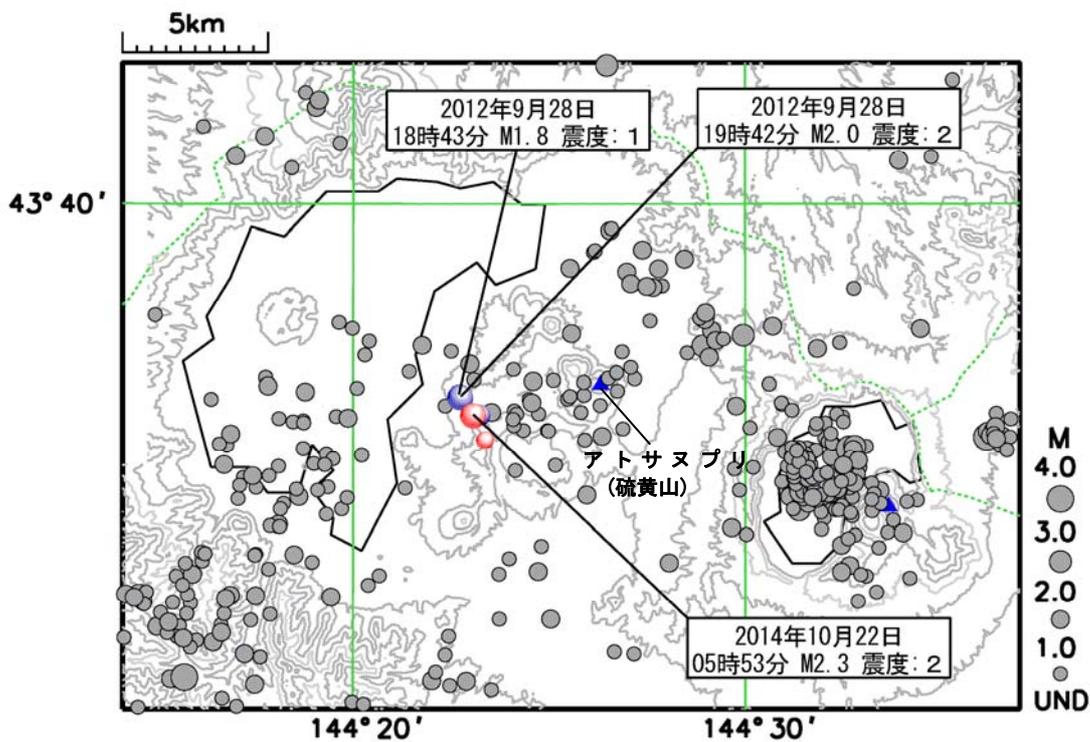


図3 アトサヌプリ 広域地震観測網による山体周辺の地震活動

(1997年1月1日～2014年10月31日、M \geq 0、深さ30km 以浅)

- ・ 2012年9月28日に発生した地震を青いシンボルで表示しています
- ・ 2014年10月22日に発生した地震を赤いシンボルで表示しています

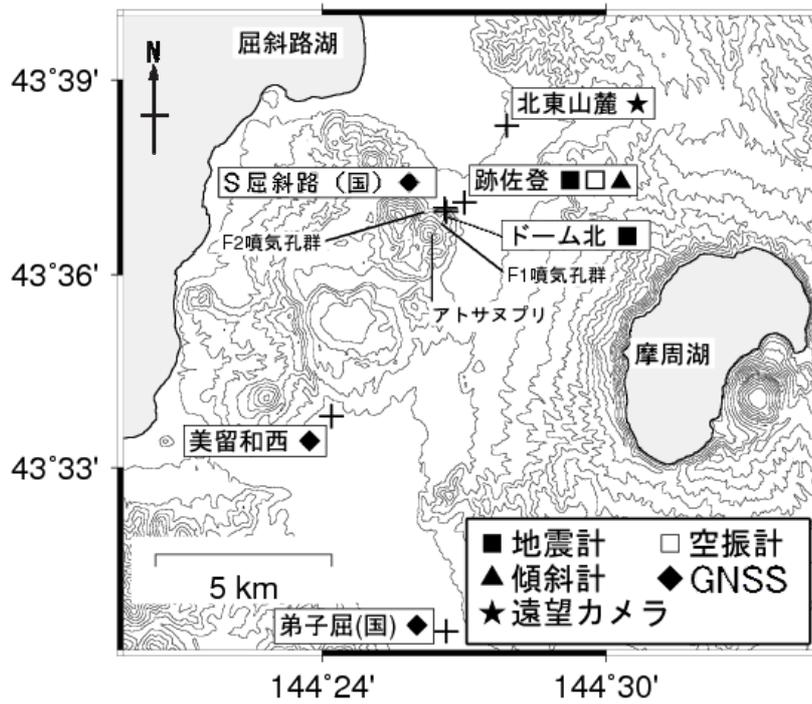


図4 アトサヌプリ 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています

(国) : 国土地理院